

# 【プログラム6:ワードパワー versionA】

☆ねらい：日頃の言葉の使い方を振り返る活動を通して、言われたら嬉しい気持ちになる言葉と悲しい気持ちになる言葉があることを確かめ、これからの子育てや生活に役立てる。

## 《プログラムの概要》

キーワードの例	言葉の力
時 間	25分
人 数	何人でもできる。(1グループの人数は3～4人)
活動形態	グループ
準備物	付箋等を用いる場合もある。
主な活動	<p>①自分が子どものころに言われた言葉で、印象に残っているものを思い出す。</p> <p>②日頃の自分自身の言葉の使い方を振り返る。よく使っている言葉を出し合う。(励ます言葉、嬉しくなる言葉、悲しくなる言葉、言われたくない等) ※付箋に書いて出し合うこともできるが、書く活動を入れると時間を要する。</p> <p>③出し合って気付いたことや話すときに気を付けていることを話し合う。</p> <p>④言われて嬉しい言葉について考える。</p>
気を付けること	<p>○言葉は、「場合によっては方言で言うこともある」ことを話すと、より身近なものとして考えさせることができる。</p> <p>○マイナスの言葉を出してもそれがダメだと決め付けないように配慮する。言い換えの言葉等を考えたりする。</p>
まとめについて	<p>○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。</p> <p>○例示のポイントを押し付けないように心がける。</p> <p>○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。</p>
備 考	<p>○感じ方の違いの例を、「どうしたの」という言葉かけの例で紹介することができる。(①「どうしたの?」と、語尾を上げて言う場合は、心配してもらっていると感じられ、②「どうしたの」と語尾を下げて言う場合は、怒られていると感じる場合がある。) 話し手の表情、声の大きさ、イントネーション等がポイントとなる。</p> <p>○インターネット等を活用し、言われて嬉しい言葉のアンケート結果を示すのも、思いを共感できる。</p> <p>○「豊かな言葉」から、絵本の読み聞かせ等に発展させる展開のアレンジもできる。(version B)</p>

【プログラム6：ワードパワー versionA】〔25分〕

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	1. ねらいを確認する。【1分】 〔キーワード〕 ○言葉の力
21分	個人	2. 自分が子どもの頃言われた言葉で、印象に残っているものについて振り返る。（数名に聞く。）【2分】
	グループ	3. 日頃の自分自身の言葉の使い方を振り返る。よく使っている言葉を出し合う。（励ます言葉、嬉しくなる言葉、悲しくなる言葉、言われたくない言葉等）【8分】 ※付箋に書いて出し合うこともできるが、書く活動を入れると時間を要する。
	グループ	4. 出し合って気付いたことや話すときに気を付けていることを話し合う。【7分】
	全体	5. 言われて嬉しい言葉について考えたことや、グループで話題になったことを紹介したりする。【4分】
3分	全体	6. まとめを話す。【3分】 〔ポイント〕 ・言葉には人の気持ちを動かす力があり、同じ言葉でも言われて嬉しい気持ちになる言葉と逆に言われたら悲しい気持ちになる言葉がある。 ・自分の気持ち（伝えたいこと）を伝えるための話し方や表情、相手の気持ち（伝えたいこと）を理解しようとする聞き方をお互いに日頃から意識していくことが大事である。 ・豊かな言葉の環境で育つ子どもは、語彙も多く、心豊かに育つとも言われている。家庭での言葉遣いを見直す機会としてほしい。 ・絵本の読み聞かせをすることで、言葉から考える想像力が育ったり語彙が多くなったりする。そのため、今の時期（乳幼児期）に、可能な範囲で取り組んでほしい。

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいの  
確認

○今日は、「言葉の力」をキーワードに講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを提示する。

2. 印象に残っている  
言葉を振り返る

○あなたが子どもの頃に言われた言葉で、印象に残っている言葉にはどんなものがありますか。  
(2～3人に紹介してもらおう。)  
どんな言葉が印象に残っているか、紹介してください。

・本講座の導入なので、時間をかけないようにする。個人の振り返りだけで、全体への紹介はなくてもよい。

3. 日頃の言葉の  
使い方を振り返る

○次に、日頃の言葉の使い方について振り返ってみましょう。日頃、よく使っている言葉は何ですか。  
(カテゴリーを示さなくても振り返ることはできるが、幅広い言葉を出すためには、カテゴリーを提示した方が、参加者は考えやすい。)  
「励ます言葉」、「嬉しくなる言葉」、「悲しくなる言葉」、「言われたくない言葉」にはどんなものがあるか出し合ってください。そして、出し合った言葉について、ご自身がどの程度使っているか振り返りましょう。

・振り返りの時付箋に記入し出し合う方法もある。書くことで、考えが整理されるが、時間を要するので気を付ける。

4. 話すときに  
気を付けている  
こと等について  
話し合う

○今、いろいろな言葉とどのくらいその言葉を使っているか出し合っていました。その時、考えたことや気付いたことはありませんか。または、ご自身が、日頃、子どもと話をする時、どんなことに気を付けているかを紹介してください。

・良いことだけを言い合うようにならないように、「つい言ってしまった言葉」等を紹介する。

## 5. 話題になったこと等の紹介

- まだ話している途中だと思いますが、言われて嬉しい言葉について考えたことや、グループで話題になったこと等を紹介してください。  
(時間があればグループの意見を多く紹介する。)
- どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・グループで話をしている時に、全体発表者を決め、事前に予告しておくとお流れがスムーズになる。

## 6. まとめ

- 言葉には人の気持ちを動かす力があり、同じ言葉でも言われて嬉しい気持ちになる言葉があったり、逆に言われたら悲しい気持ちになる言葉があったりします。
- 自分の気持ち（伝えたいこと）を伝えるための話し方や表情、相手の気持ち（伝えたいこと）を理解しようとする聞き方をお互いに日頃から意識していくことが大切です。
- 豊かな言葉の環境で育つ子どもは、語彙も多く、心豊かに育つとも言われますので、今日の講座をきっかけとして、家庭での言葉遣いを見直す機会としてほしいと思います。
- また、絵本の読み聞かせをすることで、言葉から考える想像力が育ったり語彙が多くなったりすると言われます。だから今の時期（乳幼児期）に、可能な範囲で絵本の読み聞かせ等に取り組んでほしいと思います。

・言葉の持つ力には、言葉そのものの力と同時に、言葉を発する人の態度や表情が与える力とがあることを、進行役が認識しておき、場合によっては、まとめの中で、使い分け等をする場面があってもよい。